

永元南涯 徳島県 漢學者。安政二年近江國膳所生れ、大正十年一月五日歿（一八五五—一九二一）。本名應藏。杉浦蕉亭の漢學を學び、のち京都で巖垣月洲の入門。明治八年大阪府立師範學校卒。十一年『山梨白新聞』に入り編輯の從事、また杉浦重剛經營の東京英學學校で漢文教師ののち、翌年朝日新聞社入社。十五年『京都滋賀新聞』、次で『日本新聞』編輯を買替へ、二十四年『大阪朝日新聞』東京支局入社、更に大阪本社に轉じて、二十九年まで在社。その後住友本店祕書課勤務、四十二年退社し郷里で私塾を開いた。

編書『膳城宛十傳』（本名、明治十八年九月滋賀・自刊）、杉浦正臣著『楠陰漫筆』（同、明治二十一年十二月二十八日自編刊）等。